

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月31日

事業所名：運動療育センターすきっぷ 下原教室

| | チェック項目 | はい | いいえ | 改善目標、工夫している点など | 具体的な改善目標 |
|--|--|------|-----|---|--------------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 80% | 20% | ◎個室がもう少し広い方が良い | 療育を行いやすい環境を整備していく |
| | 2 職員の配置数は適切である | 100% | 0% | | |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 100% | 0% | | |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 80% | 20% | ◎行事の振り返りや、長期休暇の目標だて、反省などを行っている ◎会議の場で職員で共有することが増えた ◎一部職員に偏りがある | マニュアルを活用し、できる業務を増やしていく |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 80% | 20% | | 保護者様のご意見を参考にし、改善に努める |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 80% | 20% | | 毎年、HPにて掲載している 全職員にいきわたるように共有をしていく |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 60% | 40% | | |
| | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 100% | 0% | | |
| 適切な支援の提供 | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 100% | 0% | ◎アセスメントを行い、職員間で意見をすり合わせし統一した評価になるようにしている | |
| | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 80% | 20% | ◎全事業所で統一したアセスメントツールを使用している | より良いアセスメントツールになるように改善していく |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている | 100% | 0% | | |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 80% | 20% | | コロナ禍で制限はされているが、工夫し満足してもらえるものを考えていく |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 100% | 0% | | |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 100% | 0% | | |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 100% | 0% | ◎毎日きちんとしている ◎平日の会議や休日でも子どもの朝の会前に職員朝礼で行っている ◎運動中の職員の役割が臨機応変な部分があるため、決められる分は決める | |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 100% | 0% | ◎終礼を毎日している ◎直接伝えられない場合は連絡ツールを使用して情報共有をはかっている | |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 60% | 40% | ◎日々の活動記録は、正しく記録している ◎担当のみが把握している点もあり、共有しきれていない部分がある | 共有に関してより「だれでも分かる」仕組みを作っていく |
| | 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 100% | 0% | | |
| 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 80% | 20% | | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 改善目標、工夫している点など | 具体的な改善目標 |
|--------------|----|---|------|------|--|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 100% | 0% | | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 100% | 0% | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 80% | 20% | | 現在は医療的ケアが必要な児童はいないが、保護者を通して、また医療機関とも連携をしていく |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 40% | 60% | ◎情報交換はしていないが、保護者や相談支援員さんから情報を頂いている | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 40% | 60% | ◎該当者がいない | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 40% | 60% | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 0% | 100% | | コロナが収まれば、交流を深める日を作っていきたい |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | 20% | 80% | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 100% | 0% | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 40% | 60% | ◎ペアレントトレーニングは踏み込むことが難しい問題だなと感じている | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 80% | 20% | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 80% | 20% | ◎送迎時に悩みを聞いているが、適切に返答出来ているのかは不安 ◎送迎時にお会い出来ない保護者の方の悩みを聞いているのか不安 | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 0% | 100% | ◎コロナの為出来ていない | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 80% | 20% | | より良いものに更新しながら使用している |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 100% | 0% | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 80% | 20% | ◎教室事態の施錠確認はしているが、子ども達のファイルが入ったロッカーは施錠していない | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 100% | 0% | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 40% | 60% | ◎コロナの為出来ていない | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 改善目標、工夫している点など | 具体的な改善目標 |
|---------|----|--|------|-----|-----------------------|-----------------|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 40% | 60% | ◎マニュアルを把握しきれていない部分がある | 定期的にマニュアルの確認を行う |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 100% | 0% | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 80% | 20% | ◎虐待に対する理解を深めたい | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 80% | 20% | | 現在対象となる児童はいない |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 60% | 40% | ◎対象者がいない | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 100% | 0% | | |